



金透坂



令和7年 1月31日(金) 学校だよりNo.45 発行責任者 校長 嶋 忠夫

何よりも大切なもの・・・自分の命です!

1月30日の朝刊を開くと、「全国小中高生自殺最多527人」という見出しが目飛び込んできました。厚生労働省の資料を見てみると、令和6年の全国の自殺者数は20,268人で、前年比1,569人(約7.2%)減になっています。しかしながら、全国の小中高生の自殺者数は527人で、前年比14人(約2.7%)増になっており、小学生も15人が尊い命を自ら絶ってしまっていることに心が痛みます。そうなる前に学校や家庭、社会が手を差し伸べられなかったのでしょうか。このようなことは絶対にあってはいけません。学校と家庭がしっかりと連携し、子どものSOSを早期にとらえて対応していかねばなりません。ご家庭の協力をお願いいたします。

本校では「問いの追究」として自分の興味関心のある問いを自分で追究する活動を行っています。先日、その中間発表会を行いました。その中で、6年生の〇〇〇〇さんが太平洋戦争について追究してきたことを発表していました。その中で、この戦争で、兵隊さんばかりでなく、東京や広島、長崎などで多数の方々が亡くなったこと、兵隊さんは自分の家族の名前を呼んで亡くなった方が多いことなどを発表していました。とてもすばらしい追究ができていて、生きたくても生きることができなかった先人の辛さや無念さを感じているようでした。



子どもたちには、自分の命はかけがえのないもの、決して粗末にはしていけないもの、そして友達をはじめ自分以外の命を尊重することを、学年に応じて指導しています。子どもたち一人一人はかけがえのない存在です。学校も家庭も協力して命を大切にする教育を進めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

ちょっといい話・・・

ある雪の日の朝。いつもよりちょっと早く外に出て、子どもたちを待っているとき、子ども心にかえて小さな雪だるまをいくつか作って正門に並べてみました。すると、雪玉を作りながら登校してきた子どもや、雪だるまを見て、一緒につくって並べてくれた子どももいて、たくさんのミニ雪だるまが並びました。まるで、雪の中、がんばって登校してくる子どもたちを待っているようにも見えました。



次々と登校してくる子どもたちからも、「なにこれ!」「かわいい!」などと喜んでくれました。寒い雪の日の朝でしたが、子ども心にかえて、ワクワクした気持ちになりました。また雪が降ったら、もっと大きな雪だるまを作りたいなと企んでいます。